

1 日時

令和6年3月15日（金） 16時～17時20分

2 場所

神奈川県立がんセンター 管理・研究棟5階 大会議室

3 出席委員

- ・ 正木 忠彦 委員長（清水ヶ丘病院 病院長（医師））
- ・ 大塚 達生 委員（神奈川県立がんセンター がん相談支援センター 副センター長（看護師））
- ・ 加藤 節子 委員（神奈川県看護協会 危機管理課 課長（看護師））
- ・ 天野 慎介 委員（一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事長）
（委任状により委員会に係る議事等を委員長に一任）
- ・ 中山 治彦 委員（神奈川県立病院機構 副理事長（医師））
（委任状により委員会に係る議事等を委員長に一任。ただし、意見提出あり）

4 議事次第

- 1) 外部委員を交えた事例検討委員会結果について報告
- 2) 臨時医療安全管理会議での事例検討結果について
- 3) 医療安全管理会議議事録記載内容について
- 4) 高難度新規医療技術評価委員会について
- 5) 神奈川県立病院機構 医療安全推進体制に係る外部調査委員会 調査結果報告の共有
- 6) 神奈川県立がんセンター医療安全監査委員会 設置要綱改正について
- 7) 前回の医療安全監査委員会での指摘事項への対応状況

5 質疑応答

- 1) 外部委員を交えた事例検討委員会結果について報告
 - ・ 外部委員からの指摘事項について質問があり、今後の取り組みについて説明が行われた。
- 2) 臨時医療安全管理会議での事例検討結果について
 - ・ 臨時医療安全管理会議にて検討した事例について評価方法や発生要因等の質問があり、事例ごとに発生時の状況やその後の対応等について説明が行われた。

<委員からの意見>

院内でこの様に細かく検討していることは評価できるため、今後も継続して行って頂きたい。
- 3) 医療安全管理会議議事録記載内容について
 - ・ 有害事象検討会議での審議事例のうち指摘された症例について、予期性等をどの様に分析されたかの質問があり、事例ごとに審議経過、委員および当該診療科の見解等の説明が行われた。

<委員からの意見>

当該診療科がどう判断したとしても、最終的には病院長がどの様に判断したかが問われているため、そのつもりでご判断いただきたい。

- ・ 麻薬金庫の鍵管理について質問があり、当院での管理方法について説明が行われた。
- ・ 議事録に記載された対策案について質問があり、進捗状況の説明が行われた。
- ・ インシデントレポート報告内容を医療安全ラウンドや研修でどの様に活かしているのか質問があり、ラウンドでの取り組み方法や研修内容の選定方法について説明が行われた。

4) 高難度新規医療技術評価委員会について

- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の仕組みおよび審議事項2件について説明と報告がされた。
- ・ 未承認新規医薬品等評価の仕組みと審議件数について質問があり、仕組みと審議件数について説明が行われた。

5) 神奈川県立病院機構 医療安全推進体制に係る外部調査委員会 調査結果報告の共有

- ・ 病院機構に外部監査委員会が設置されているが、がんセンターの医療安全監査委員会は並行して継続していくことが説明された。

6) 神奈川県立がんセンター医療安全監査委員会設置要綱改正について

- ・ 要綱に会議内容の公表に関する記載を追記することが承認された。

7) 令和5年度第2回医療安全監査委員会での指摘事項への対応状況

- ・ 前回の指摘事項である病院の組織図、病院長の独立性について、再編したがんセンター組織図および総長、病院長の役割等の資料を用いて説明が行われた。

6 監査結果・委員からの講評

- ・ 神奈川県立病院機構上での組織の問題と病院長の位置付けについては明確な説明をいただいた。
- ・ オピオイドスイッチングチェック欄を新たに設けたことで誤りが起こらない取り組みをされているが、その定着率などは今後の課題であるため結果の報告も行って頂きたい。
- ・ 特定の診療科に事故が集中している気配があるので、総長、病院長のバックアップのもと、医療安全管理責任医師がリーダーシップを発揮し中心となって臨んでいただけると良いと思う。
- ・ 患者誤認（書類）事案が目につくため、患者誤認防止マニュアルの徹底が望まれる。
- ・ 麻薬金庫の鍵管理はしっかり行って頂きたい。
- ・ B型肝炎ウィルスのモニタリングについては院内システムの一層の改善が望まれる。

以上